

第90期 報告書

H25・04・01▶H26・03・31

株式会社 **よみうりランド**

証券コード9671

日テレらんらんホール
(平成26年3月オープン)

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

はじめに、6月19日開催の第90回定時株主総会後の取締役会におきまして、代表取締役社長の関根達雄が代表取締役会長に、後任の代表取締役社長に上村武志が就任したことをご報告いたします。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当社グループ第90期（平成25年4月1日～平成26年3月31日まで）の事業の概況を取りまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

平成26年6月



代表取締役会長

関根 達雄



代表取締役社長

上村 武志

営業の概況

01

事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善され、緩やかに回復いたしました。先行きについては、各種政策の効果が下支えするなかで、景気の回復基調が続くことが期待されるものの、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの関連する業界に影響する個人消費につきましては、消費者マインドは弱い動きであったものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要などもあり増加いたしました。

このような状況の下、当社は新たな収益構造の確立と他社施設との差別化を図り、一層強固な経営基盤を築いてまいりました。遊園地では、3月に天候に左右されない多目的ホール「日テレらんらんホール」が完成し営業を開始いたしました。また、過去最高の入園者を記録したイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」をはじめ、年間を通じて多彩なイベントを開催いたしました。夏のプールWAIにおきましても、引き続きエンターテイメントプールとして多彩なイベントを開催したことで、過去最高だった前期を上回る入場者数を記録いたしました。この結果、遊園地とプールWAIの合計利用者数は、平成に入って最高となる記録を樹立いたしました。

なお、平成26年3月19日、遊園地の新アトラクション「ツイストコースターロビン」におきまして、車両が逆走する事故が発生いたしました。幸い、乗車されていたお客様にお怪我はございませんでしたが、多くの皆様にご迷惑とご心配をおかけしたことを深くお詫びいたします。

不動産事業におきましては、2月に本社屋1階に東京都認証保育所「京王キッズプラッツよみうりランド」がオープンし、運営会社へ賃貸を開始いたしました。また、再生可能エネルギーの普及促進と環境負荷低減による社会貢献を目的とし、静岡県掛川市のゴルフ場隣接地と船橋競馬場の馬場内にて太陽光発電を開始し安定的に運用いたしております。

この結果、当連結会計年度における売上高は167億7千1百万円（前期比0.4%減）、営業利益は24億5千5百万円（同16.8%減）、経常利益は32億2百万円（同3.2%減）、当期純利益は19億4千万円（前連結会計年度は減損損失の計上等により28億4千3百万円の当期純損失）となりました。

対処すべき課題

今後のわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が見込まれるものの、その後は、雇用・所得環境の改善とともに持ち直していくことが期待されております。

このような状況の下、当社グループは、所有地の効率的な活用と他社施設との差別化を図り、強固な経営基盤に基づいた事業の拡大を進めてまいります。

川崎競馬場におきましては、現在閉鎖中の3号スタンドを解体し、跡地に商業施設を建設いたします。365日いつでも「競馬観戦、ショッピング、飲食」が同時に可能となる、他に類を見ないレジャーエリアを計画しております。平成27年度に開業し、当社は運営会社に賃貸する予定であります。船橋競馬場におきましては、駐車場の一面にスーパーマーケットを建設し、平成26年秋には事業会社へ賃貸を開始する予定であります。

東京よみうりカントリークラブにおきましては、平成26年に迎えた開場50周年の記念事業の一環として、ベントグリーンの全面改修に着手しております。耐暑性に優れた新種の新種芝に張り替え、平成26年10月の完成を予定しております。よみうりゴルフ倶楽部におきましては、女性プレーヤーの獲得に向け、平成26年度に女性用の浴室やロッカールームの拡張工事を予定しております。また、引き続き、ゴルフ4場で連携し、質の高いコースコンディションの維持とサービスの提供を図るとともに、外部営業などの集客活動を強化し、顧客獲得に努めてまいります。

遊園地におきましては、平成26年3月に発生した新アトラクション「ツイストコースターロビン」の事故を受け、発生当日に「ツイストコースターロビン事故調査委員会」を社内に設置し、事実関係の調査、事故原因の究明、再発防止策の検討を慎重に行っております。今回の事故を重大な教訓として、今後も全社を挙げて、引き続きお客様の安全対策に万全を期してまいります。

4月には、既存のバーベキュー場を移転し、「バーベキューパークJ-U-JU」をオープンいたしました。「森の中のバーベキュー場」をコンセプトに、雨天時にも利用できるようなテントやパラソルも完備いたしました。同じく4月に、近年増加している来園者に対応するために、自走式立体駐車施設を新設し駐車場の収容能力を強化しております。また、好評を得ております「ジュエルミネーション」をはじめとする多彩なイベントに加え、3月に完成した全天候型多目的ホール「日テレらんらんホール」を効果的に活用することにより、一層の集客を図ってまいります。さらに、温浴施設「丘の湯」や親子向け屋内遊戯施設「キドキド」などの周辺施設との連携を密にして、遊園地部門全体で相乗効果を図り、売上向上を目指してまいります。そして、平成28年3月には、屋内型遊戯施設4施設の完成を予定しております。新たな魅力と顧客の創出を図るとともに、天候にも影響を受けずに楽しめる場を提供することで、遊園地事業のさらなる拡大を目指すものであります。

今後とも当社グループは、国内でも特色のある総合レジャー・サービス事業会社として、永年に亘り培われたノウハウとブランドイメージに裏打ちされた様々な経営資源に基づき、持続的な企業価値の向上を目指し成長、進化していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の概況

総合レジャー事業

公営競技部門

川崎競馬は、前期比1日減の63日開催されました。1月に開催された川崎競馬最大のレース「川崎記念」は天候にも恵まれ、多くのファンが来場いたしました。さらに地方競馬のビッグレースを中心に勝馬投票券が購入できるJRAのインターネット投票「IPAT」が年間を通じて稼働したことなどにより、投票券総売上高は増加いたしました。なお、南関東の他場開催（船橋・大井・浦和）の場外発売は、前期比1日減の204日実施されました。また、JRAの場外発売「ウインズ川崎」は106日実施され、好調に推移いたしました。

船橋競馬は、前期比2日減の52日開催されました。5月の「かしわ記念」開催に合わせ主催した恒例のイベント「おうちフェス2013～親子であそぼ。～」がファミリー層から好評を博すとともに、同日グランドオープンした新投票所「アタリーナ」により、快適に勝馬投票券が購入できる環境を提供いたしました。また、インターネット投票「IPAT」が年間を通じて稼働したことなどにより、前期より開催日が2日減ったものの、投票券総売上高は前期並みに推移いたしました。なお、他場開催（川崎・大井・浦和）の場外発売は、前期同様215日実施されました。さらに、10月には「JPLACE船橋」として、日曜日に開催しているJRA各競馬場のメインレースの発売を開始いたしました。

船橋オートレースは、前期同様69日開催され、9月にはSG「オートレースグランプリ」が6年ぶりに行われました。本場入場者は増加したものの、一人当たりの購買金額が落ち込んだことなどにより、投票券総売上高は減少いたしました。なお、他場開催の場外発売は、前期比4日増の270日実施されました。

競輪場外車券売場「サテライト船橋」での発売は、前期比4日増の365日、毎日実施されました。12月に迎えた5周年の記念イベントをはじめ、年間を通して多数のイベントを実施し、きめ細かな接客サービスを行った結果、近隣競合施設が前期を下回る中、サテライト船橋の投票券売上高は増加いたしました。

以上の結果、公営競技部門の売上高は、39億3千2百万円（前期比10.8%減）となりました。

ゴルフ部門

東京よみうりカントリークラブは、積極的な外部営業により新規コンペを獲得するなどしたものの、2月の記録的な降雪の影響で前期よりクローズ日数が7日増えたことなどにより、入場者は減少いたしました。なお、開場以来初となるベントグリーンの全面改修を1月より開始するなど、引き続きチャンピオンコースとしてのコース維持を行っております。

よみうりゴルフ倶楽部は、記録的な降雪の影響で2月に19日間クローズするなど、前期より7日クローズ日数が増えたものの、強化した外部営業による大口コンペの新規獲得や継続利用、多彩な自主コンペの開催などにより、入場者は前期並みに推移いたしました。なお、クラブハウスのレストランは、遊園地のイベントと連動し、期間限定で夜間も営業し好評を博しました。

静岡よみうりカントリークラブは、周辺のゴルフ場に先駆け、コンペでの順位が即時にわかる機能をカートに搭載し、好評を得ました。幸いにも2月の降雪がなかったことから、積雪でクローズした県内東部のゴルフ場からのプレーヤーが増加したことなどにより、9月の台風の影響によるクローズがあったものの、入場者は前期並みに推移いたしました。

千葉よみうりカントリークラブは、来場者へのスクラッチカード配布イベントを実施するなどしたものの、平成25年4月27日の圏央道延長による当コースから外房よりのコースへのプレーヤー流出や、2月の記録的な降雪の影響で前期より14日クローズ日数が増えたことなどにより、入場者は減少いたしました。

以上の結果、ゴルフ部門の売上高は、28億2千1百万円（前期比3.1%減）となりました。

遊園地部門

遊園地部門の遊園地は、引き続き年間を通じて多彩なイベントを開催し、内容をより充実させてまいりました。春の桜イベント「SAKURAKUEN」にはじまり、「全国ご当地グルメ祭2013」の好評により、ゴールデンウィーク期間中には今世紀に入って最高となる入園者を記録いたしました。夏期は清涼飲料水メーカーとコラボレーションした「スプラッシュ

Overview by Bussiness Segment

バンデット」や、冷たい麺などをテーマに新規の食イベントを開催いたしました。冬の風物詩として定着した世界的照明デザイナー石井幹子氏監修のイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」は4年目を迎え、球数を200万球に増やしました。音楽とイルミネーションと噴水によりパリの雰囲気を演出する新しいイルミネーションショー「パリ・モナムール」が好評を博しました。また、テレビCMなど、各種媒体での宣伝を強化したことなどにより、ジュエルミネーションの入園者数は過去最高記録を達成いたしました。なお、3月に1,000人収容、コンサートやシアター、講演会など、多彩なイベントが展開できる全天候型多目的ホール「日テレらんらんホール」をオープンいたしました。これらの結果、オープンシアターEASTの閉鎖に加え、春の天候不良、秋の台風及び記録的な大雪の影響によるクローズなどがあったものの、前期並みの入園者を確保いたしました。

夏のプールWA Iは、引き続きエンターテイメントプールとして多くのイベントを開催いたしました。人気お笑い芸人がプロデュースした放水ショーとオリジナルダンスのコラボレーションショー「ダンスプラッシュ」など例年人気のイベントにさらに磨きをかけ、好評を博しました。また、夏期としては15年ぶりにテレビCMを放送したことなども奏功し、プールWA Iは過去最高だった前期を上回る入場者数を記録いたしました。

3月に10周年を迎えた温浴施設「丘の湯」は、遊園地や「キドキド」帰りのお客様が増加したものの、2月の降雪による影響などにより、入場者は減少いたしました。なお、丘の湯プラザの中華レストラン「天安」では、遊園地と連携した「天安ほたるディナー」などの新規イベントを開催し好評を博しました。温浴施設「季乃彩（ときのいろどり）」は、定期的な朝風呂の実施や、バラやデンファレの変わり湯など、多彩なイベントが好評だったことなどにより、入場者は増加いたしました。

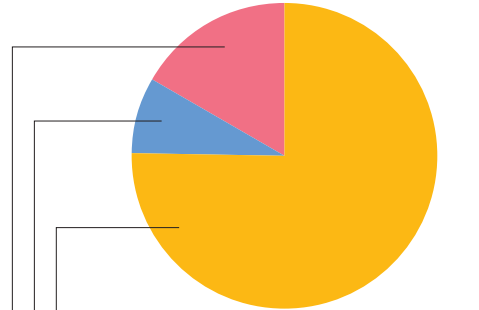
20周年を迎えたゴルフガーデン（練習場）は、感謝企画などの施策や、天然芝を活かした練習グリーンでのイベントが好評を博し、2月の降雪によるクローズの影響があったものの、入場者は前期並みに推移いたしました。

なお、10月に1周年を迎えた親子向け屋内遊戯施設「キドキド」は、お客様との積極的なコミュニケーションや、ほぼ毎日開催されるサプライズイベントが好評を得たことなどもあり、入場者は増加いたしました。

以上の結果、遊園地部門の売上高は、37億7千9百万円（前期比2.5%増）となりました。

販売部門

遊園地の「全国ご当地グルメ祭」や「ジュエルミネーション」の特設売店が好調であったことやプールの入場者増に伴う増収、ピザレストラン「シェーキーズ」の通期稼働などにより、販売部門の売上高は31億6千4百万円（前期比4.0%増）となりました。



● 総合レジャー事業

総合レジャー事業全体の売上高は、その他の収入も含め、145億1千9百万円（前期比2.1%減）、営業利益は28億6千5百万円（同19.2%減）となりました。

売上高 **14,519**百万円

構成比 **75.4%**

● 不動産事業

不動産事業の売上高は、保育所「京王キッズプラッツよみうりランド」の賃貸開始に加え、販売用宅地の分譲が増加したことなどにより、15億8千4百万円（前期比14.9%増）となり、営業利益は9億4千8百万円（同23.2%増）となりました。

売上高 **1,584**百万円

構成比 **8.2%**

● サポートサービス事業

サポートサービス事業の売上高は、連結内部からの工事の受注が増加したことなどにより、31億4千4百万円（前期比11.0%増）、営業利益は1億4千4百万円（同4.7%増）となりました。

売上高 **3,144**百万円

構成比 **16.4%**

財務諸表〔連結〕

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当連結会計年度末 平成26年3月31日現在	前連結会計年度末 平成25年3月31日現在	比較増減		当連結会計年度末 平成26年3月31日現在	前連結会計年度末 平成25年3月31日現在	比較増減
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	4,213	5,982	△ 1,768	流動負債	6,303	6,318	△ 15
現金及び預金	2,747	4,558	△ 1,810	営業未払金	789	499	289
受取手形及び売掛金	895	891	3	短期借入金	1,470	970	500
商 品	33	35	△ 1	1年内返済予定の長期借入金	433	1,325	△ 892
販売用不動産	97	165	△ 68	未払法人税等	220	777	△ 556
未成工事支出金	20	5	14	賞与引当金	123	123	△ 0
貯 蔵 品	13	12	0	そ の 他	3,266	2,622	643
繰延税金資産	110	167	△ 57	固定負債	26,313	25,754	558
そ の 他	296	146	150	長期借入金	—	433	△ 433
貸倒引当金	△ 0	△ 0	△ 0	繰延税金負債	1,923	1,048	874
固定資産	47,268	42,589	4,679	退職給付引当金	—	578	△ 578
有形固定資産	35,811	32,955	2,855	役員退職慰労引当金	—	116	△ 116
建物及び構築物	17,465	17,306	159	退職給付に係る負債	558	—	558
機械装置及び運搬具	1,431	453	977	資産除去債務	201	197	3
工具、器具及び備品	316	335	△ 19	長期預り金	23,395	23,232	163
土 地	14,175	14,180	△ 5	そ の 他	234	147	87
リース資産	107	122	△ 15	負債合計	32,616	32,072	543
建設仮勘定	2,314	556	1,758	(純資産の部)			
無形固定資産	95	97	△ 1	株主資本	15,660	14,311	1,349
そ の 他	95	97	△ 1	資 本 金	6,053	6,053	—
投資その他の資産	11,361	9,535	1,825	資本剰余金	4,730	4,730	—
投資有価証券	10,731	9,151	1,580	利益剰余金	6,795	5,438	1,356
繰延税金資産	161	171	△ 10	自 己 株 式	△ 1,918	△ 1,910	△ 7
そ の 他	468	212	255	その他の包括利益累計額	3,204	2,187	1,017
資産合計	51,482	48,571	2,910	その他有価証券評価差額金	3,204	2,187	1,017
				純資産合計	18,865	16,498	2,367
				負債純資産合計	51,482	48,571	2,910

Consolidated Financial Statements

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	比較増減
売上高	16,771	16,836	△ 65
売上原価	12,651	12,215	436
売上総利益	4,120	4,621	△ 501
販売費及び一般管理費	1,664	1,668	△ 3
営業利益	2,455	2,953	△ 497
営業外収益	772	407	364
受取利息	0	0	△ 0
受取配当金	178	173	4
保険返戻金	1	3	△ 1
建設発生土受入金	551	187	364
その他	39	41	△ 1
営業外費用	25	53	△ 27
支払利息	21	52	△ 31
その他	4	0	4
経常利益	3,202	3,307	△ 105
特別利益	29	1	28
固定資産売却益	29	1	28
特別損失	161	4,972	△ 4,811
固定資産除却損	154	789	△ 635
災害による損失	7	10	△ 3
減損損失	—	4,172	△ 4,172
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	3,070	△ 1,664	4,735
法人税、住民税及び事業税	750	1,131	△ 380
法人税等調整額	380	48	331
法人税等合計	1,130	1,179	△ 49
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	1,940	△ 2,843	4,784
当期純利益又は当期純損失(△)	1,940	△ 2,843	4,784

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

	当連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,900	4,406
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,137	△ 2,015
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,457	△ 4,009
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,695	△ 1,617
現金及び現金同等物の期首残高	4,402	6,020
現金及び現金同等物の期末残高	2,707	4,402

連結株主資本等変動計算書

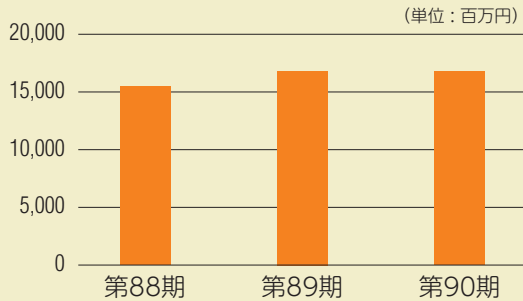
当連結会計年度 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

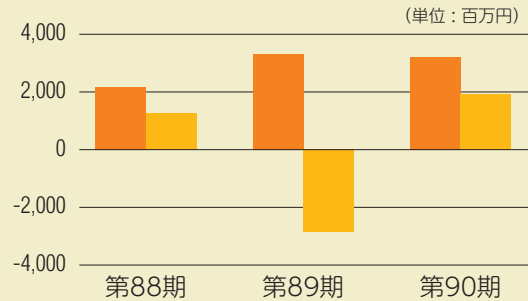
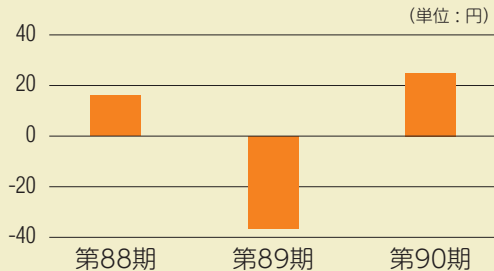
	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	6,053	4,730	5,438	△ 1,910	14,311
当期変動額					
剰余金の配当			△ 583		△ 583
当期純利益			1,940		1,940
自己株式の取得				△ 7	△ 7
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,356	△ 7	1,349
当期末残高	6,053	4,730	6,795	△ 1,918	15,660
	その他の包括利益累計額			純資産 合計	
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高				16,498	
当期変動額					
剰余金の配当				△ 583	
当期純利益				1,940	
自己株式の取得				△ 7	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,017	1,017		1,017	
当期変動額合計	1,017	1,017		2,367	
当期末残高	3,204	3,204		18,865	

業績ハイライト [連結]

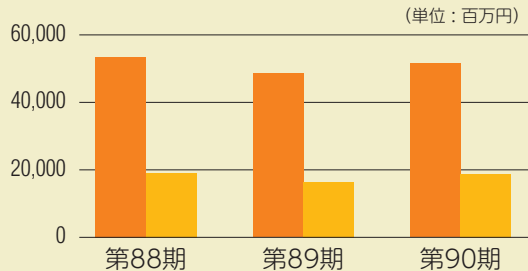
● 売上高



● 経常利益／当期純利益又は当期純損失

● 1株当たり当期純利益又は
1株当たり当期純損失

● 総資産／純資産



07

	第88期	第89期	第90期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高 (百万円)	15,499	16,836	16,771
経常利益 (百万円)	2,166	3,307	3,202
当期純利益又は当期純損失 (百万円)	1,253	△2,843	1,940
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失 (円)	15.91	△36.52	24.94
総資産 (百万円)	53,524	48,571	51,482
純資産 (百万円)	18,974	16,498	18,865

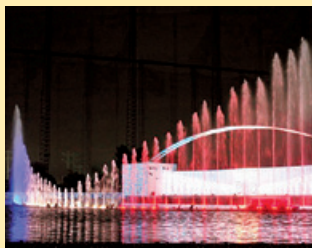
(注) 第89期における当期純損失及び1株当たり当期純損失は、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失を計上したこと等によるものであります。

トピックス

★プールWAIは過去最高だった前期を上回る入場者数を記録
ジュエルミネーションの入園者数も過去最高記録を達成



ダンスブラッシュ (プールWAI)



噴水ショー (ジュエルミネーション)

夏期としては15年ぶりにテレビCMを実施し、エンターテインメントプールとして多くのイベントを開催いたしました。ジュエルミネーションは球数を200万球に増やしエリアを拡張、音楽とイルミネーションと噴水によるショーが好評を博しました。

★静岡県掛川市のゴルフ場隣接地と船橋競馬場の馬場内にて太陽光発電を開始



静岡県掛川市のゴルフ場隣接地



船橋競馬場 (馬場内)

再生可能エネルギーの普及促進と環境負荷低減による社会貢献を目的に太陽光発電を開始。競馬場の馬場内にメガソーラー設備が設置されたのは、船橋競馬場が日本初となります。

★屋内遊戯施設新設計画 (平成28年3月完成予定)

よみうりランド遊園地は、昭和39年の開園以来、屋外型の遊戯機を中心に、様々な形でレジャー・アミューズメントを提供してまいりましたが、屋内型の遊戯機を新設することにより、新たな魅力と顧客の創出を図るとともに、天候にも影響を受けず楽しめる場を提供することで、遊園地事業のさらなる拡大を目指します。



外観イメージ

★川崎競馬場商業施設建設計画 (平成27年度完成予定)

現在閉鎖中の3号スタンドを解体し、跡地に商業施設を建設いたします。地上5階建てで1年365日いつでも競馬観戦、ショッピング、飲食が同時に可能となる、他に類を見ない魅力ある一大レジャーエリアとして年間300万人の来場者を見込んでおります。



外観イメージ

Shareholders' Information

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会の議決権 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
 全国各支店で行っております。
- 公告の方法 電子公告により行います。なお、以下の
 ホームページアドレスにてご覧いただけ
 だけです。
<http://www.yomiuriland.co.jp/ir/index.html>
 ただし、事故その他、やむを得ない事
 由によって電子公告による公告をする
 ことができない場合は、東京都において
 発行する読売新聞に掲載して行います。

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先につ
 いて
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された
 株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀
 行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出
 ください。
- 「配当金計算書」について
 配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税
 特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねておりま
 す。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いた
 だくことができます。
 ※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

09

株主優待

当社では、権利確定日に株主名簿に記録されている株主様を対象として、株主ご優待を実施しております。

権利確定日	9月30日(中間)	3月31日(期末)
発行時期	12月	6月
有効期間	1~6月	7~12月

● 招待内容

遊園地・プールWAI招待券綴	株主入場パス
1冊の内容	各場共通パス
★遊園地入園 5枚	☆川崎競馬場
★のりもの・アスカショー観覧 1枚 園内で「のりもの3回、アスカショー1回」がセットになった クーポン券5枚とお引き換えいたします。	☆船橋競馬場
★ゴンドラ乗車 2枚(10回分)	
★プールWAI入場 5枚(※期末発行分のみ)	

※船橋オートレース場は、平成25年4月より入場料が無料となりました。

Shareholders' Hospitality

● 発行基準

ご所有株数	遊園地・プールWAI招待券綴	株主入場パス
1,000株以上	1冊	2枚
5,000株以上	2冊	3枚
10,000株以上	3冊	5枚
50,000株以上	4冊	5枚

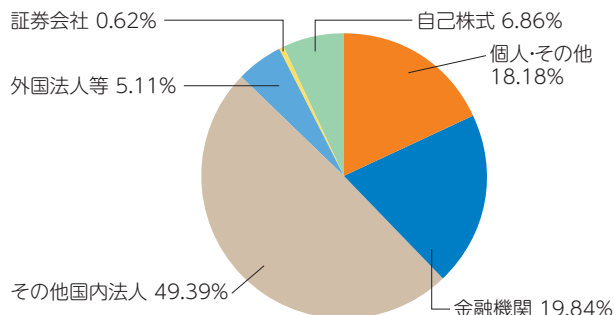
※各招待券は休園日等ご利用いただけない日がございます。注意事項と合わせて詳細につきましては、同封の「株主招待券贈呈のご案内」をご参照ください。

※プールWAI入場につきましては、期末発行分のみとなります。

Investor Information

株式の状況 (平成26年3月31日現在)

- 発行可能株式総数…………… 294,196,000株
- 発行済株式総数…………… 77,789,100株
(自己株式5,732,924株を除く)
- 当期末株主数…………… 7,489名
- 所有者別株主比率



●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社読売新聞グループ本社	12,508	16.07
日本テレビ放送網株式会社	11,242	14.45
株式会社東京ドーム	5,821	7.48
三井住友信託銀行株式会社	3,869	4.97
大成建設株式会社	2,852	3.66
株式会社読売巨人軍	2,014	2.59
京王電鉄株式会社	1,700	2.18
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,681	2.16
株式会社横浜銀行	1,631	2.09
ピーエヌピーパブリックサービスグループ ジャステックアパディーングローバルクライアントアセット	1,564	2.01

(注) 1. 上記以外に当社所有の自己株式5,732千株があります。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

Corporate Data

会社の概況

●会社の概要 (平成26年3月31日現在)

商号 株式会社よみうりランド
(英文: YOMIURI LAND CO., LTD.)
本店所在地 東京都稲城市矢野口4015番地1
設立 昭和24年9月24日
資本金 6,053,030,806円
企業集団の主要な事業内容 総合レジャー事業
公営競技部門…競馬、オートレース及び競輪の競技場等の施設運営
ゴルフ部門…ゴルフ場の経営
遊園地部門…遊園地、ゴルフ練習場、温浴施設等の経営
販売部門…食堂、売店及びコンビニエンスストアの経営
不動産事業
不動産の売買、賃貸
サポートサービス事業
建設業、ゴルフ場管理、ビル管理等

●当社の従業員の状況 (平成26年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
121名	2名	42歳7ヶ月	17年3ヶ月

(注) 従業員数は就業人員(契約社員を除く)であります。

●役員 (平成26年6月19日現在)

代表取締役会長	関根達雄
代表取締役社長	上村武志
専務取締役	谷矢哲夫
専務取締役	土方功稔
専務取締役	小飯塚興志
常務取締役	小山道博
取締役	中村高章
取締役	小林道雄
取締役	中保恒雄
社外取締役	渡邊恒雄
社外取締役	加藤奂
社外取締役	大久保好男
常勤監査役	小林利光
社外監査役	濱邦久
社外監査役	児玉幸治
社外監査役	岡田明重



日本で初めて客席部分が昇降する「空飛ぶ床」装置を採用し、客席の下にはプールを整備した全天候型多目的ホールです。最大収容人員1,000人、コンサートやシァター、講演会など多様なイベントを展開します。

Topics●



ホール内でのイベントの様子



ホール前広場にて開催したご当地大グルメ祭の様子

株式会社よみうりランド
〒206-8566
東京都稲城市矢野口4015番地1
TEL 044-966-1131 (総務部総務課)



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

本場ロシアからやってくるステージサーカス!この夏、よみうりランドで開催!

ロシア・ステージサーカス

IN よみうりランド

期間
7/26(土)~8/24(日)

料金 (おとな・子ども共通)
¥900 (入園料別途)
ワンデーりよこバス乗車で¥600

場所
日テレ らんらんホール

予定演目
30~40分のステージサーカス。熊のサーカス・猫のサーカス・ジャグリング など
※演目は変更になる場合がございます。

動物取扱業の種別: 展示 許可番号: 川崎市26多展第2号